

一人一台端末は、何のために配られているの？

2025.11.25 校長 西谷 秀幸

先週、学校から配られるタブレットが新しくなりました。タブレットは、今から4年前に初めて板橋区の小中学生全員に配られました。

では、なぜ4年前から全員にタブレットを配って、学習するようになったのでしょうか。

今から7年前（2018年）、6年生もまだ幼稚園や保育園に通っていた頃、世界の主な国で「ICT活用調査」が行われました。ICTとは、パソコンや携帯電話、タブレット、スマホ、インターネット等のことです。

ここで、問題です。7年前に、「学校の授業で一番パソコンやインターネットなどを使っていた国」は、次のどこでしょう。

①デンマーク ②アメリカ ③日本

正解は、「デンマーク」です。デンマークという国は、ヨーロッパの北の方にあります。（地図を提示）3年生以上の方は、地図帳を持っていますので、あとで調べてみましょう。

では、7年前に「授業で一番使っていなかった国」はどこでしょう。

①ブラジル ②アメリカ ③日本

正解は、「日本」でした。調査した国の中で、日本が一番使っていなかったのです。

では、7年前に「パソコンを使って宿題をするのが一番多かった国」は、どこでしょう。

①デンマーク ②アメリカ ③日本

正解は、「デンマーク」でした。

では、7年前に「パソコンを使って宿題をするのが一番少なかった国」はどこでしょう。

①ブラジル ②アメリカ ③日本

正解は、またまた「日本」でした。

最後の問題です。7年前に「1人用ゲームで遊ぶのが一番多かった国」はどこでしょう。

①デンマーク ②アメリカ ③日本

正解は、これも「日本」でした。日本は、ゲームだけでなく、インターネットを見たり、SNSをしたりするなど、「遊び」でICTを使うことが一番多かったのです。

これは、7年前の調査の結果ですが、皆さんは、この結果を聞いてどう思いましたか。そして、この結果を知った日本の国の偉い人たちは、どう思ったか、想像できますね。

そうです。「日本の学校でも授業でパソコンを使うようにしなければ…」と思ったのです。さらに、調査結果が発表されてからすぐにコロナになってしまったので、計画は早まって、4年前に全員にパソコンが配られ、授業中に使うようになったのです。

7年前、日本は「授業や宿題でパソコンを一番使っていない国」でしたが、今はどうでしょう。学年にもよりますが、板五小では、毎日のように使って、大人と同じくらいのスピードでタイピングをしたり、Canva等でまとめたりできる人が増えましたね。

でも、本当におめでたいことばかりでしょうか。

確かに、授業や宿題などでパソコンを使うようになり、7年前とは大きく変わりました。でも、勉強のためにタブレットが配られたのに、家でゲームをしたり、勉強に関係ないYouTubeを見たりしている人が何人もいます。

また、このタブレットは、みんなにあげたものではなく、貸しているものなのに、自分のもとだと勘違いして、落したり、乱暴に使ったりする人もいます。

他にも、Googleスライドは、1つの画面をみんなで同時に編集することができる…という便利な機能を使って、「遊びの約束」をしたり「好きな人について相談」したりするなど、勉強以外のことに使っている人がいます。

他の学校では、スライドに友達の悪口を書いて、いじめをしている人もいました。

勉強のために、タブレットが配られたのに、勉強ではなく、自分の楽しみのために使ったり、いじめのために使ったりしている人がいるのです。皆さんは、どう思いますか。

板五小には、「板五小ナビ」があって、「Chromebookのやくそく」も書かれています。それなのに、残念ながら、約束を守れない人が何人もいます。仕方がないので、3学期から、夕方5時になったら、タブレットでYouTubeを見ることができなくし、夜の11時になったら、タブレットを全く使えなくすることにしました。

もしも、このルールも守られなかったら、もっとルールを厳しくしなくてはならなくなります。そんなのは嫌ですね。

今日は、なぜ、タブレットが全員に配られるようになったか…という話をしました。その結果、勉強に使うようになって他の国に負けなくなったのに、ルールを守らない人がいるせいで、タブレットを使えなくなる時間をつくることになりました。

板橋区から借りるタブレットが新しくなった今、改めて、何のために配られているのか、どんな約束を守らなくてはならないのか、一人一人がしっかり考えてほしいし、クラスでも話し合ってもらいたいと思います。

これで朝会話を終わります。

（裏面に「先生方へ」があります）

〈先生方へ〉

先週は、4年の社会科見学、お疲れさまでした。一般の通行人も意識しながら公共ルールを守って歩いている姿が印象的でした。また、先々週から続いた個人面談もお疲れさまでした。今週は、2年生の生活科見学、5年生の校内研・授業研究があります。校外での引率、ICTの活用にも関わるプログラミング教育と引き続き、よろしくお願いします。

さて、板橋区から貸与されている一人一台端末が先週から新しい端末に替わったことに伴い、今週は、79か国・地域（OECD加盟37か国、非加盟42か国・地域）、約60万人の15歳（日本の高校1年生）の生徒を対象に7年前に調査が実施されたPISA2018の結果について、国立教育政策研究所が公開している「2018年調査補足資料（生徒の学校・学校外におけるICT利用）」をもとに話をしました。

7年前、日本の教育におけるICT活用状況は、OECD加盟国の中で最下位で、危機的な状況でした。そこで登場したGIGAスクール構想は、コロナ禍で急加速し、現在に至っています。

4年前は、タブレット代4.5万円が国から支出されましたが、その他の整備費用は自治体負担であり、現在も板橋区では、維持費も含めて、年間20億円もかかっているそうです。遊びではなく、学習のためにPCを使う…。タブレットが新しくなったことをきっかけに、一丁目一番地にあたる当たり前のことを、改めて子供たちに考えさせるとともに、ルールを守らないと、ルールがもっと厳しくなり、自由が奪われていくことを各学級で話し合ってほしいと思います。よろしくお願いします。

【資料】ゲーム&チャットは1位で学習は最下位…日本の15歳のICT活用の実態

授業でICT活用しない国No.1 （※授業で活用1位…デンマーク）

「1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を使う時間の国際比較」の設定で「普段の1週間のうち、**教室の授業でデジタル機器をどのくらい利用しますか。**」に対する「**国語**」の授業についての調査結果を見ると、日本は「利用しない」が83.0%。OECD平均は48.2%で大きな開きがあり、**OECD加盟国の中でも、参加国・地域の中でも日本はもっとも「利用しない」国**という結果となった。「国語」のほか「数学」「理科」「外国語」「社会科」「音楽」「美術」も同様に「利用しない」という回答がもっとも多い結果となった。

コンピューターを使って宿題をしない国No.1 （※宿題に使用1位…デンマーク）

授業でのデジタル機器の活用状況から推測できるように、日本は学校外での学習においてもデジタル機器の活用が進んでいない。「あなたは、次のことをするために学校以外の場所でデジタル機器をどのくらい利用していますか（携帯電話での利用も含む）」の質問では、「**コンピューターを使って宿題をする**」について、78.8%が「まったくかほとんどない」と回答しており、**日本はコンピューターを使って宿題をしない国ナンバーワン**となっている。

さらに、「携帯電話やモバイル機器を使って宿題をする」についても72.0%が「まったくかほとんどない」と回答。「コンピューターを使って学習ソフトや学習サイトを利用する」については78.8%が「まったくかほとんどない」と回答、「携帯電話やモバイル機器を使って学習ソフトや学習サイトを利用する」については72.8%が「まったくかほとんどない」と回答しており、調査参加国の中で「学校外の学習でもっともデジタル機器を使わない国」という結果となった。

「遊び」でデジタル機器を使う国No.1 （※ゲーム使用28位…デンマーク）

では、学校外での「遊び」でのデジタル機器の利用状況についてはどうだろうか。「学校外での平日のデジタル機器の利用状況の国際比較」の調査結果によると「あなたは、次のことをするために学校以外の場所でデジタル機器をどのくらい利用していますか（携帯電話での利用も含む）」という質問で、「**1人用ゲームで遊ぶ**」について「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせて47.7%でOECD加盟国を含めた**調査参加国の中で1位**となった。また、「Eメールを使う」については、「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせてわずか9.1%で最下位。「**ネットでチャットする**」については、「毎日」「ほぼ毎日」と回答した人は合わせて87.3%で、**こちらもトップ**という結果になっている。

日本の子どもたちは日常的にデジタル機器に触れ、使いこなしているのにもかかわらず、学校での学習と学外での学習が、子どもたち個々のデジタル機器とリンクせず、「遊び」にばかりデジタル機器を利用しているというのが現状だ。

【参考】学校外での平日のデジタル機器の利用状況（学習）の国際比較（2018年）／OECD 生徒の学習到達度調査（PISA）～ 2018 年調査補足資料～「生徒の学校・学校外における ICT 利用」